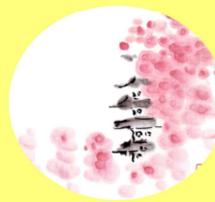




ひな祭り

ゆのさと



栄養士手作りの
甘酒と
桜のお饅頭で
お祝いました



発行責任者 仲田治夫
湯の里・黒松内
〒048-0101
北海道寿都郡黒松内町
字黒松内565-11
TEL 0136-77-2120
ホームページ
<https://www.tsukushien.or.jp/>



萩生田 剛様



高島 海子様



江口 惣重様



お誕生日おめでとございます！



武蔵 ヨシエ様



丸山 和子様



藤田 セ子様

誕生日者様

令和 7 年度 湯の里黒松内 事業計画・予算案

基本方針

介護老人保健施設湯の里・黒松内は、老健施設の機能としてリハビリテーションの提供により自宅での生活を目指す施設です。開設 25 年を迎え当施設を取り巻く社会的な環境が大きく変化してきております。本来の在宅復帰を目指す方の利用減少、逆に長期入所を希望する方が多くなってきている実情であります。更には 2025 年問題にあるように「超高齢社会」に入ると言われており今まで以上に複雑なケースが多くしっかりと個々に適した柔軟な対応を進めます。

開設 25 年を迎え今までの利用者支援を振り返り利用される皆さん一人ひとりが心豊かで快適な生活を営めるように利用者さんの意向及び、人格を尊重し思いに添えるよう専門職と一緒に考え必要な支援を進めて参ります。

また刻々と変化する介護保険制度に対応し適正なサービスを提供できるよう努力して参ります。近年、物価の高騰を始めとする様々なコストが増加しており厳しい運営状況にあります。この状況を打破すべく社会資源としての使命をしっかりと確立し科学的介護(LIFE)の作成、ICT機器の活用による業務の効率化を事業の展開を図って参ります。

地域や家庭との結びつきを重視した運営を行い、市町村や保健・医療機関、その他の関係諸機関との密接な連携を図ります。さらに利用者及び家族等からのいかなる相談にも親切・丁寧に対応し、皆様に信頼されるよう努力致します。

今年度の重点目標

- 1、利用者一人ひとりが、心豊かで快適な生活が送れるよう努めてまいります。
(関係の構築、生活歴・習慣に配慮した支援、しっかりとしたりハビリテーションの提供)
- 2、ご家族・利用者に安心・安全なサービスを提供できるように努めてまいります。
(事故リスクの軽減、しっかりとした感染症対策、様々な災害対策の構築、生活状態の近況報告)
- 3、施設全体が明るく利用者が職員に気兼ねなく声を掛けられるように努めてまいります。
(利用者は人生の先輩であるという意識の下、信頼関係の構築と基本的な接遇マナーを常に頭に入れて接する)
- 4、職員間の良好な信頼関係の構築と心身の健康づくりに努めてまいります。
(職員間の良好な信頼関係、何事も気兼ねなく言える職場風土、健康診断での身体の健康確保)
- 5、職員一人ひとりが経営に対する意識を持ち組織機能の評価、運営、コストに対する意識を高めます。
(業務改善、ICT導入による業務の効率化、スキルアップに必要な教育、研修制度)
- 6、法人内(養護・特養・老健)の高齢者施設の一体感のある連携に努めてまいります。
(個々の利用者に適した施設利用、法人高齢者部門の関係の強化)
- 7、施設機能の提供と地域貢献に努めてまいります。
(実習生・職場体験の積極的な受け入れ、福祉授業での訪問、町内行事などへの参加)

収入		支出		予備費(C)	
科目	【単位：千円】 予算額	科目	【単位：千円】 予算額		
介護保険事業収入	415,929	人件費支出	258,011		0
経常経費寄付金収入	500	事業費支出	81,850	当期資金収支差額	934
受取利息配当金	0	事務費支出	35,840	①=(A)-(B)-(C)	
その他の収入	1,550	利用者負担軽減額	1,900		
施設整備等補助金収入	0	支払利息	413		
設備資金借入金収入	0	その他の支出	24,149		
積立資産取崩収入	3,000	設備資金借入金元金償還支出	6,630	前期末支払資金残高②	167
拠点区分間繰入金収入	2,000	固定資産取得支出	3,000	当期末支払資金残高①+②	1,101
		ファイナンス・リース債務の返済支出	3,852		
		退職給与引当資産支出	6,400		
		拠点区分間借入金支出	0		
収入合計(A)	422,979	支出合計(B)	422,045		

新年度の始まりにあたり、皆様のご協力をお願い申し上げます。今年度は、介護の現場で働く職員一人ひとりの働きやすさを確保し、利用者さんの生活の質を向上させることを目指してまいります。また、地域や家庭との連携を強化し、社会資源としての使命を果たすべく努力してまいります。

今年度は、介護の現場で働く職員一人ひとりの働きやすさを確保し、利用者さんの生活の質を向上させることを目指してまいります。また、地域や家庭との連携を強化し、社会資源としての使命を果たすべく努力してまいります。

新年度を迎えて
施設長 嶋宏志